

令和3年1月

普及活動報告

鳥獣害対策重点対象集落で勉強会開催 ～南丹市日吉町～

(南丹市：25日)



獣種ごとの特徴と対策を再確認

※南丹地域野生鳥獣被害対策診断チーム：市町、振興局、農林センター及び普及センターで構成。平成30年度から毎年、20集落程度を選定して聞き取り調査を行い、その結果を基に重点対象5集落を選定し、集落住民と同チーム員が協働で集落柵の点検や補修等を実施。

南丹地域野生鳥獣被害対策診断チーム*の一員である普及センター職員が講師となり、同チームの重点対象の一つである集落で鳥獣害対策の勉強会を開催しました。

勉強会では、同集落で被害が目立つイノシシ、シカ及びサル習性の習性や被害の特徴、その対策や各戸でできる対策の工夫についてDVDを視聴した後、資料による視聴内容の確認や質疑応答を行いました。

意見交換では「電気柵は20cm、40cmの高さが効果的」等、視聴内容と実体験に即した声が聞かれました。また、鳥獣害対策では「これで万全」というものではなく、獣を寄せ付ける原因となる放置果樹の伐採等、様々な対策の実践や粘り強い対策の継続が肝要なことを確認しました。

場 所 新町会議所（日吉町胡麻）

出席者数 12名

京都府南丹農業改良普及センター

令和3年1月

普及活動報告

ハウス軟弱野菜の低温対策を指導

～京丹波町和知地区～

(京丹波町：25日)



シュンギク葉の低温被害



標高の高い所では茎の被害も確認

1月中旬の寒波の影響により低温被害を受けたみず菜やシュンギクのハウス生産農家を中心に巡回指導を行いました。

寒波の影響により、山間部のハウス栽培では、凍結によるみず菜の葉先の変形、シュンギクの葉や茎の褐変等を認めました。今後の対策として、ハウス内の保温や雪解け水の排水、シュンギクで切り戻しの実施や回復が困難な場合は次作への切り替えを助言しました。

みず菜生産者は「出荷調製に大変手間がかかっている」とのことので、ハウスの低温回避対策として簡易暖房器を紹介したところ、早速2台導入されることとなりました。普及センターは引き続き、冬場の生産安定を支援していきます。

場 所 京丹波町安栖里ほか

京都府南丹農業改良普及センター

令和3年1月

普及活動報告

小麦「せときらら」の現地調査を実施 ～京丹波町、亀岡市～

(京丹波町・亀岡市：29日)



踏圧作業用のローラー



各処理区の生育状況を調査

京丹波町の農事組合法人では、凍霜害対策や分けつ増加、耐倒伏性を高めることを目的に「麦踏みローラーによる踏圧」を試行しており、亀岡市の農事組合法人では、実肥の作業軽減や肥効の向上を目的に「基肥又は追肥の一発施肥体系」の実証を行っています。今回の現地巡回では、各処理の効果を確認するため、生育状況（草丈・茎数）を調査しました。

水田農業関連補正予算では、新たに低コスト生産等の取組みを行う農業者の支援が検討されており、普及センターでは、新技術導入に向けた現場の挑戦を支援していきます。

場 所 京丹波町鎌谷
亀岡市河原林町

出席者数 5名

南丹管内における令和3年産小麦の作付面積：約49ha

京都府南丹農業改良普及センター